

1．実施機関名

国立大学法人静岡大学

2．企画名

つなげる力で世界に羽ばたけ 未来の科学者養成スクール

3．総合評価コメント

受講生の一次選抜に関して、自己推薦一般型、自己推薦自主研究推進型、学校推薦連携活動型の3つのタイプの窓口を設け、自己PR書や小論文に基づいたループリック評価を行うなど多様な人材の発掘が行われている。基礎力養成コースでは、コロナ禍であってもオンラインによる取組で継続的な学習支援ができています。研究活動が主体となる研究力養成コースから発展コースでは、受講生の提案する研究テーマに適した指導教員とのマッチングを丁寧に行ったうえで、受講生の自主性を尊重したきめ細かな研究指導を実施している点もよい。また、受講生が創出する成果に関しては、科学オリンピック参加希望者に向けた特別支援コースを設けるなどの工夫が見られ、各種科学コンテストや科学オリンピック、科学の甲子園への高い参加率として結実している点は特筆に値する。

一方、受講生の募集については、県外からの応募者が少なかった点や、3年度目以降の応募者が減少している点に改善の余地が残る。また、ループリックに基づいた受講生評価については、評価結果を踏まえた評価基準の妥当性の検証に止まらず、プログラム自体の有効性の検証や、その改善に向けたフィードバックについても十分に検討していただきたい。

今後、本企画の更なる発展のためには、企画運営が特定の教員等に依存することなく、実施主担当者を強力にバックアップできる実施体制の構築が望まれる。これまでの経験や本企画での実績を生かして、全学的な協力体制の維持と長期的な企画の継続を行うとともに、優れた実績を対外的にもアピールするなど積極的な情報発信を検討され、企画の成果やプログラムの社会への一層の普及・展開を期待する。